

平成27年度
福祉の仕事、職場を目指す学生の意識調査
「報告書」

(保育系学科)

はじめに

現在、我が国の子育てをめぐる状況は急速な少子化が進行している一方で、深刻な待機児童問題や放課後児童クラブの不足など多くの課題を抱えております。

本県においても例外ではなく、待機児童数も昨年4月の段階で401人となり一昨年の同時期と比較しても2.2倍に増加しています。また子育てを担う人材の有効求人倍率も、昨年10月現在1.61倍と保育士の確保が困難な状況となっております。

このような中、国では昨年4月より全ての子ども・子育て家庭を対象に、幼児教育・保育、地域の子ども・子育て支援の量と質の充実を図ることを目的に「子ども・子育て支援新制度」が実施され、それまでの「待機児童解消加速化プラン」「保育士確保プラン」等と併せて子育ての支援を強化しているところです。

このような状況を踏まえ、本会「保育士・保育所支援センター」では、これから保育分野への就労を希望する学生の考え、ニーズを把握し、保育所等においての人材の確保や、職員の定着に役立てていくために本調査を実施し、その結果を取りまとめ報告書を作成しましたのでご活用いただければ幸いです。

最後に、お忙しい中この調査にご協力をいただきました、保育士養成校の学生の皆様及び担当者の方に御礼申しあげますとともに、今後とも関係の皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願い申しあげます。

平成28年3月

社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

— 目次 —

I	調査の概要	1
II	調査結果	
	問1. (1) 回答者の性別	2
	(2) 回答者の年齢	2
	問2. 回答者の所属と学年	3
	問3. 回答者の学科	3
	問4. 福祉の仕事を目指そうと思った時期	3
	問5. 福祉を学ぼうと思った理由	4
	問6. 入学するにあたって課題となったこと	4
	問7. 福祉の仕事に対するイメージ	
	(1) 仕事の魅力ややりがい	5
	(2) 安定性・将来性	5
	(3) 社会的地位	6
	(4) 仕事内容	6
	(5) 賃金	7
	(6) 休日	7
	(7) 職場のイメージ	8
	問8. 出身地域と就職希望地域	
	(1) 出身地域・就職希望地域	9
	(2) 出身地域別就職希望地域	10
	問9. 将来仕事をしたい分野	14
	問10. 将来仕事をしたい職種	14
	問11. 希望する雇用形態	15
	問12. 職場を選ぶとき重視すること	15
	問13. 最低必要な初任給の金額	16
	問14. 最初に働いた職場で定年まで働き続けたいか	16
	問15. 福祉の職場への就職活動に必要な情報	17
	問16. 就職活動に最も活用していきたいもの	17
	問17. 卒業後福祉の職場に就職を希望するか	18
	問18. 施設（保育所）実習における課題や悩み、不安等（自由回答）	19
	各設問「その他」の回答内容一覧	21
III	調査票	24

I 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢化の進行等のもとで、労働人口の減少が見込まれる中、福祉の職場における人材の確保が困難な状況となっております。

このような状況を踏まえ、福祉の職場を目指す保育系学生の考え方（意識）を把握し、今後の求職相談、求人側の理解促進、求人開拓等に繋げていくことを目的に実施します。

2. 実施主体 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 調査対象

「保育士養成校の学生」

4. 調査期間 平成27年4月1日（水）～平成27年7月31日（金）

5. 調査方法

(1) 「福祉人材養成校の学生に対する就職動向説明会」上における10分程度の時間で記入。

(2) 動向説明会を実施しない養成校については郵便で実施。

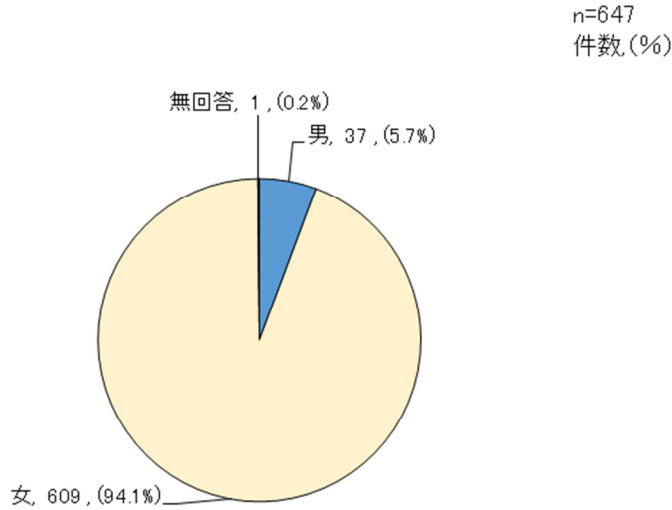
6. 調査票回収状況

対象者数 : 818名
有効回収数 : 647件
回収率 : 79.1%

Ⅱ 調査結果

問 1-(1) あなたの「性別」は？(○は1つ)

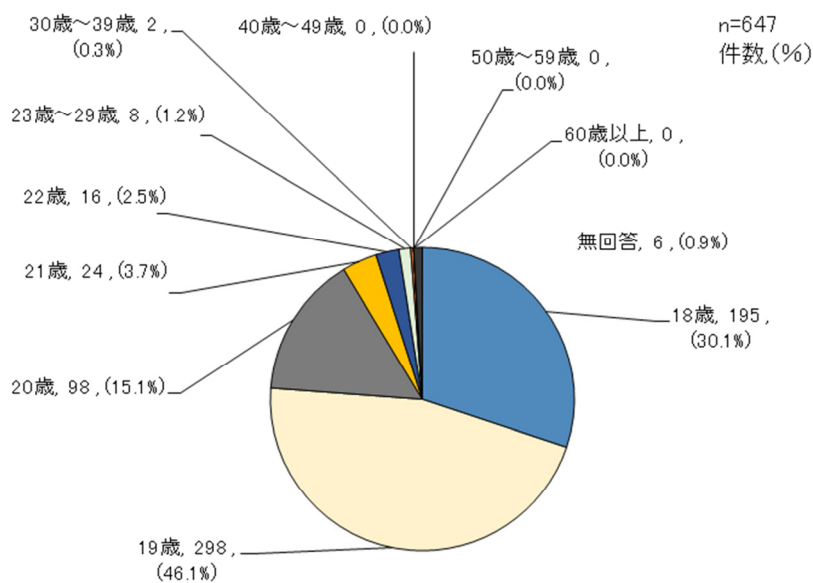
図表 1-(1)



回答者の性別は、「女性」が 94.1%と高い比率となった。

問 1-(2) あなたの「年齢」は？

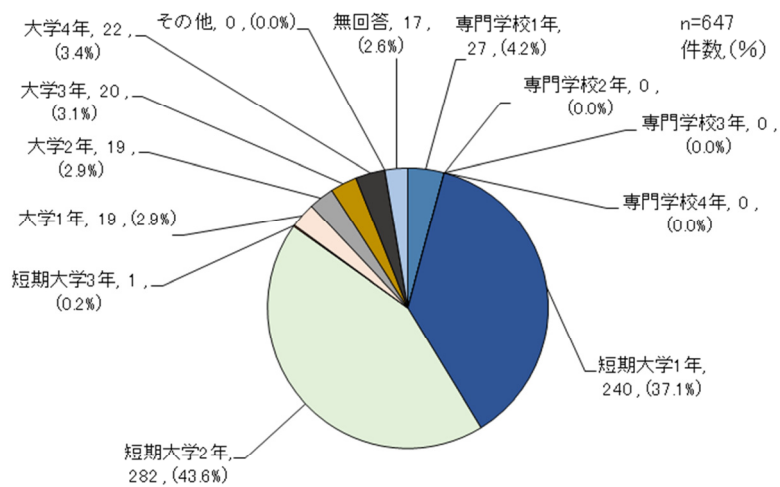
図表 1-(2)



回答者の年齢は、「19歳」が 46.1%と最も多く、次いで「18歳」が 30.1%、「20歳」が 15.1%であった。20歳までが全体の 91.3%を占める。40歳以上の回答者はいなかった。

問 2 あなたの「所属」と「学年」は？（○は1つ）

図表 2



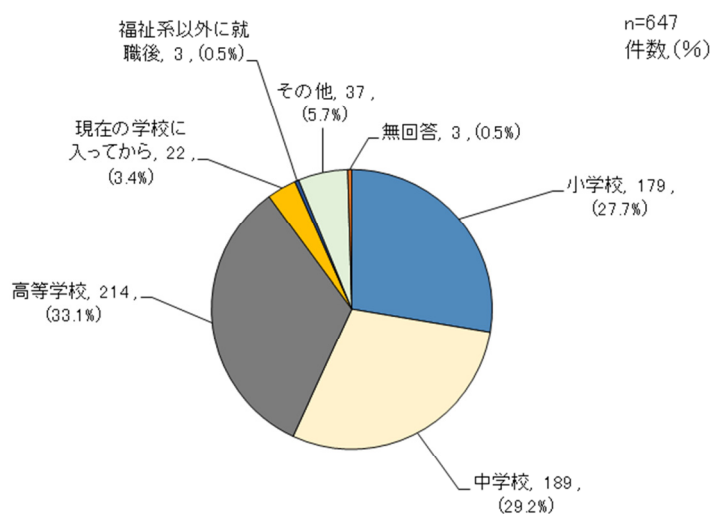
「短期大学 2 年」が 43.6%と最も多く、ついで「短期大学 1 年」が 37.1%と、短期大学の学生は合わせて 80.7%であった。大学は 4 学年合せて 12.3%、専門学校は 4.2%であった。

問 3 あなたの所属している「学科」は？（○は1つ）

※保育学科のみのため省略

問 4 福祉の仕事を目指そうと思った時期は？（○は1つ）

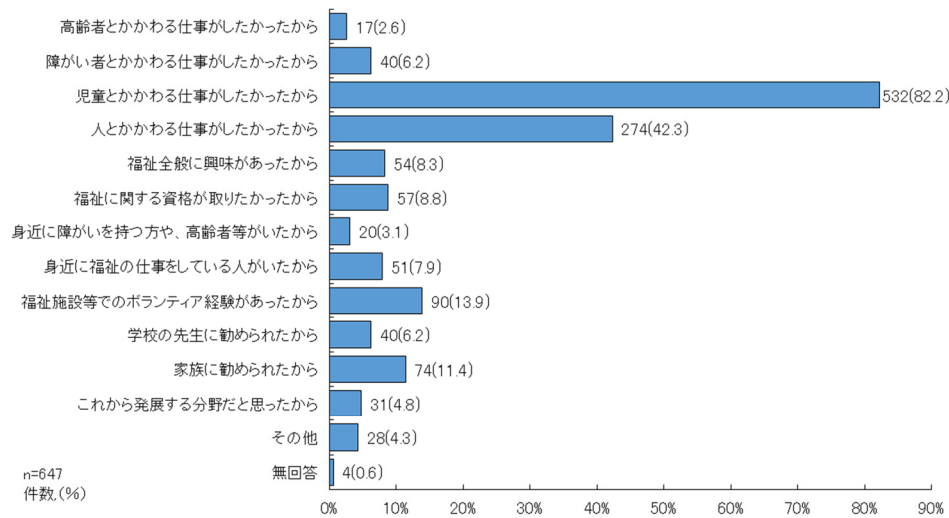
図表 4



回答者が福祉の仕事を目指そうと思った時期は「高等学校」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「中学校」が 29.2%、「小学校」が 27.7%であった。

問 5 福祉を学ぼうと思った理由は？(○は複数可)

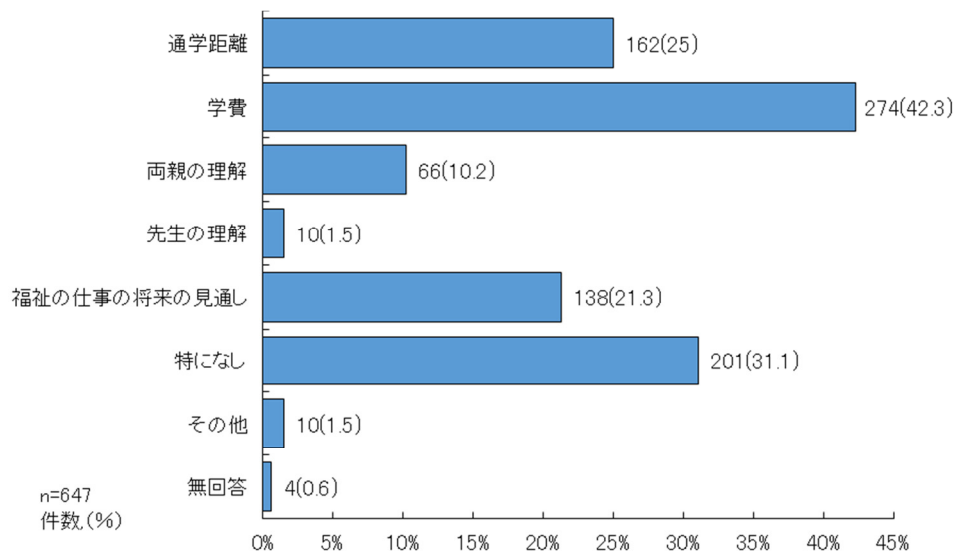
図表 5



回答者が福祉を学ぼうと思った理由は、「児童とかかわる仕事をしたかったから」が 82.2%と最も高く、次いで「人とかわる仕事をしたかったから」が 42.3%であった。

問 6 入学するにあたって課題となったことは？(○は複数可)

図表 6

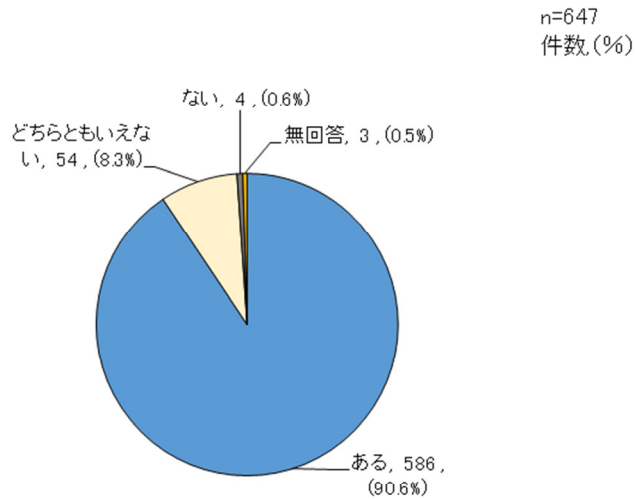


現在の学校に入学するにあたって課題になったことは、「学費」が 42.3%と最も高く、次いで「特になし」が 31.1%、「通学距離」が 25.0%であった。「福祉の仕事の将来の見通し」と回答したのは 21.3%であった。

問 7 福祉の仕事にどのようなイメージを持つか？(○は1つ)

(1) 仕事の魅力ややりがいについて

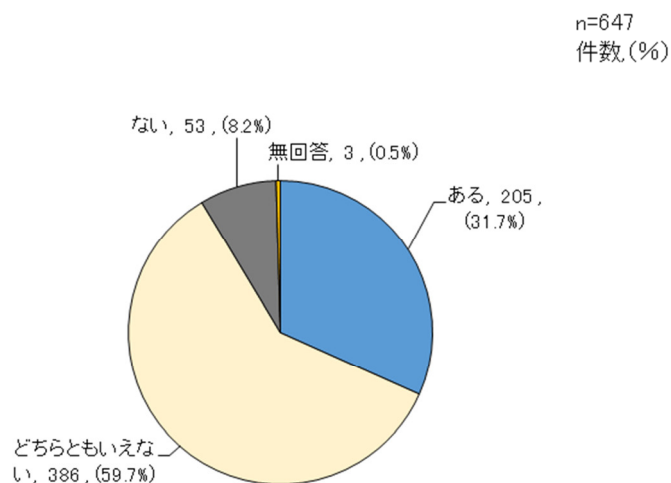
図表 7-(1)



福祉の仕事のイメージについて、魅力ややりがいが「ある」と回答した割合は 90.6%であった。「どちらともいえない」が 8.3%、「ない」は 0.6%であった。

(2) 安定性・将来性について

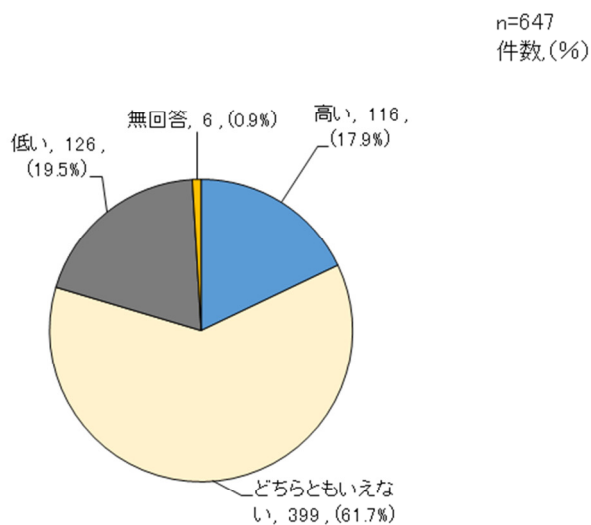
図表 7-(2)



福祉の仕事のイメージについて、安定性・将来性が「ある」と回答した割合は 31.7%であった。「どちらともいえない」という回答が 59.7%と最も高かった。「ない」は 8.2%であった。

(3) 社会的地位について

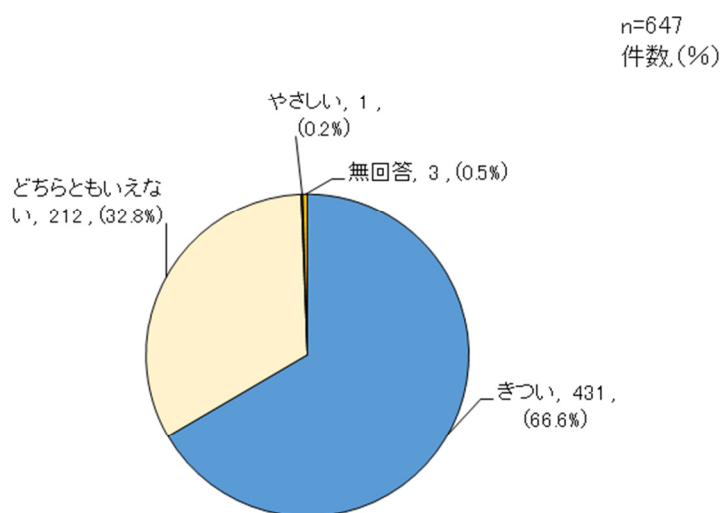
図表 7-(3)



福祉の仕事のイメージについて、社会的地位が「高い」と回答した割合は 17.9%であった。「どちらともいえない」という回答が 61.7%と最も高かった。「低い」は 19.5%で「高い」を上回った。

(4) 仕事内容について

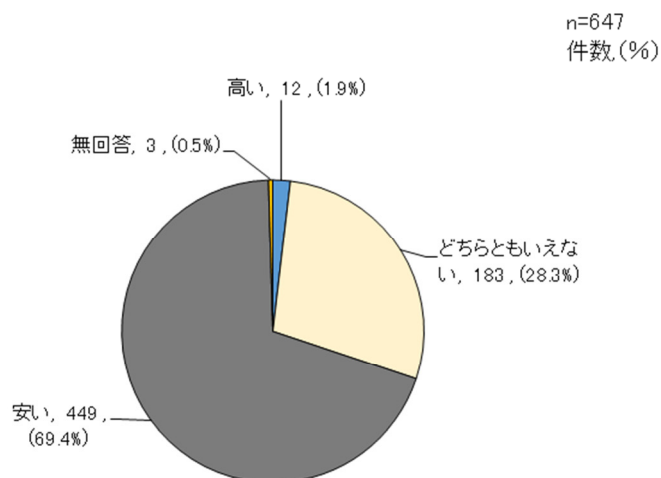
図表 7-(4)



福祉の仕事のイメージについて、仕事内容が「きつい」と回答した割合は 66.6%であった。「どちらともいえない」が 32.8%、「やさしい」は 0.2%と低かった。

(5) 賃金について

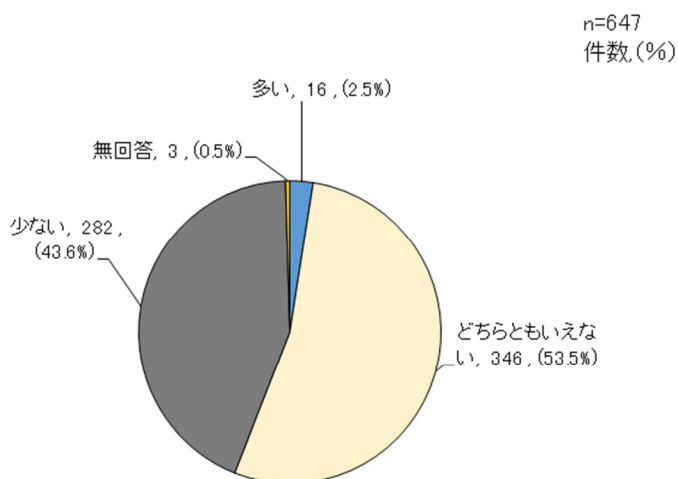
図表 7-(5)



福祉の仕事のイメージについて、賃金が「安い」と回答した割合が最も高く 69.4%であった。「どちらともいえない」が 28.3%、「高い」と回答した割合は 1.9%と低かった。

(6) 休日について

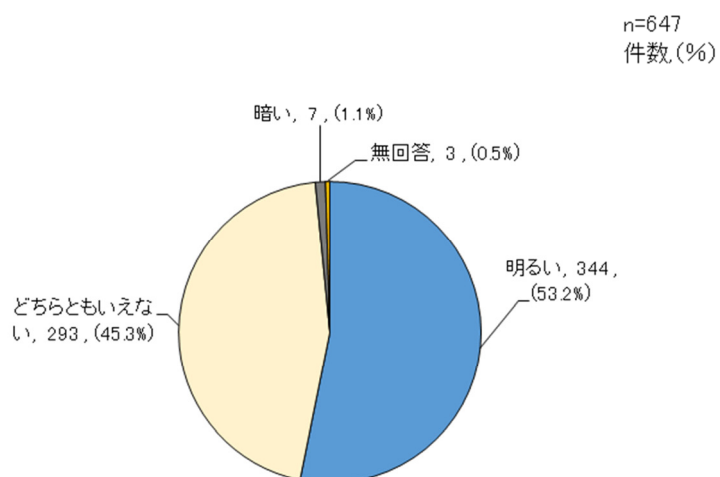
図表 7-(6)



福祉の仕事のイメージについて、休日が「多い」と回答した割合は 2.5%と低かった。「どちらともいえない」が 53.5%と最も高く、「少ない」と回答した割合が 43.6%であった。

(7) 職場のイメージについて

図表 7-(7)

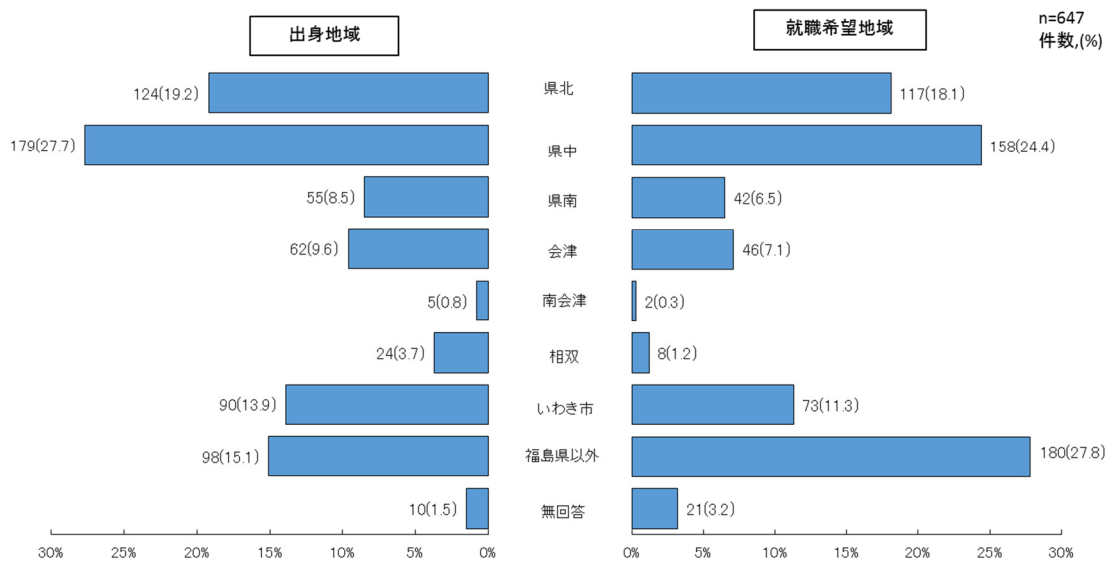


福祉の仕事のイメージについて、職場が「明るい」と回答した割合が 53.2%と最も高かった。「どちらともいえない」が 45.3%、「暗い」と回答した割合は 1.1%と低かった。

問 8 あなたの出身地域と就職希望地域は？(○は1つ)

(1) 出身地域・就職希望地域

図表 8-(1)



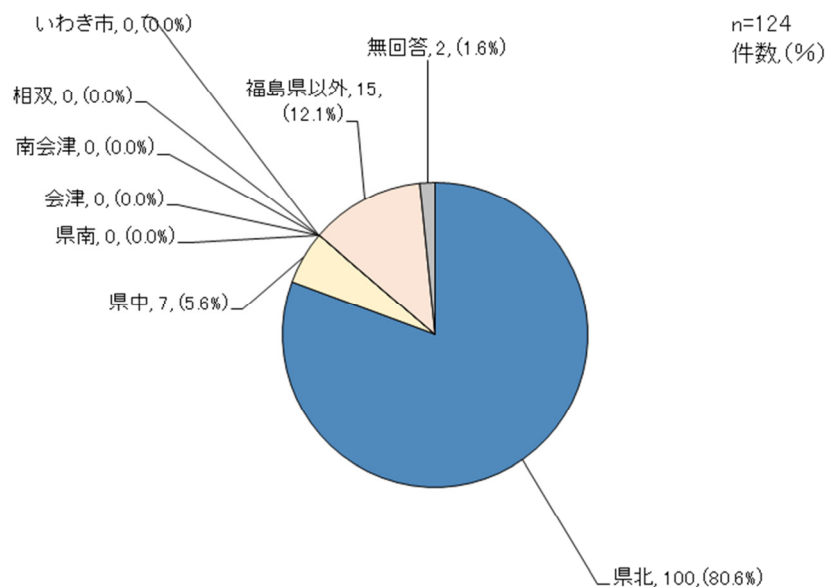
回答者の出身地域は「県中」が27.7%と最も多く、次いで「県北」が19.2%であった。

就職希望地域は、「福島県以外」が27.8%と最も多く、次いで「県中」が24.4%であった。

(2) 出身地域別就職希望地域

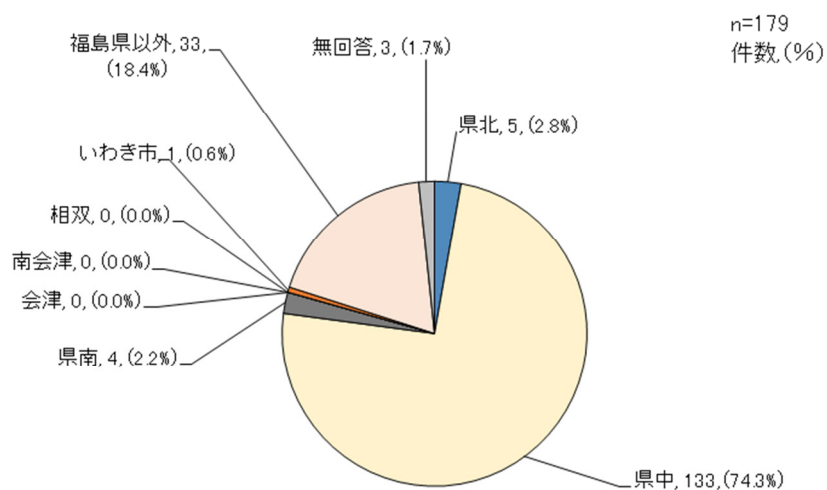
図表 8-(2)

県北



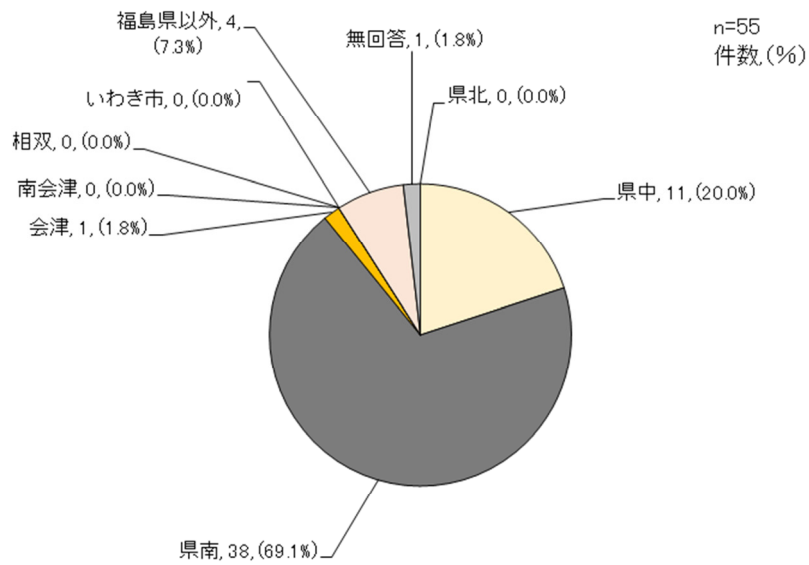
県北地域の学生の就職希望地域では、「県北」が 80.6%と最も割合が高かった。

県中



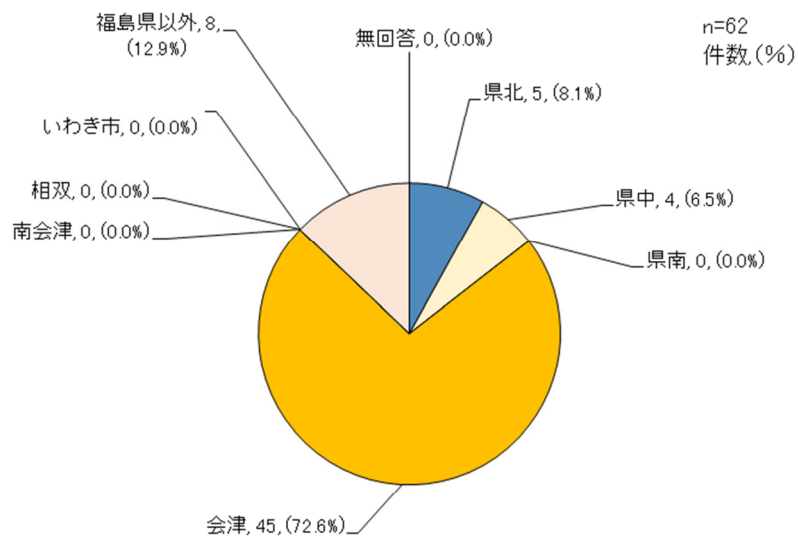
県中地域の学生の就職希望地域では、「県中」が 74.3%と最も割合が高かった。

県南



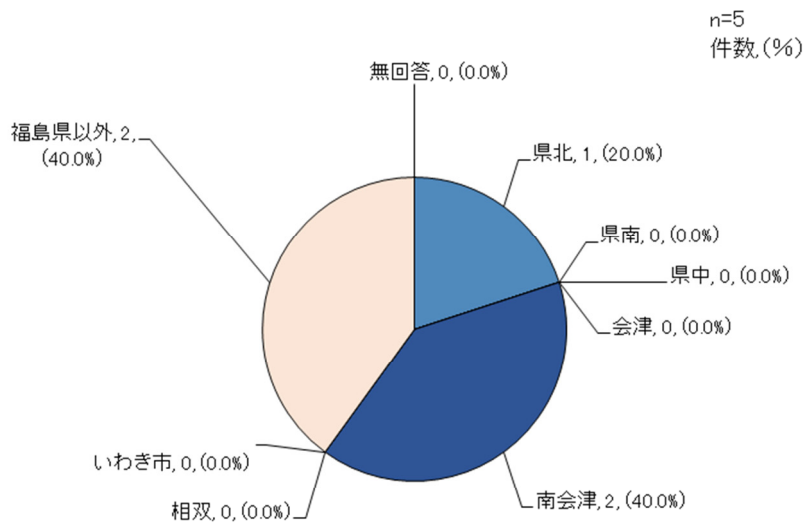
県南地域の学生の就職希望地域では、「県南」が69.1%と最も割合が高かった。

会津



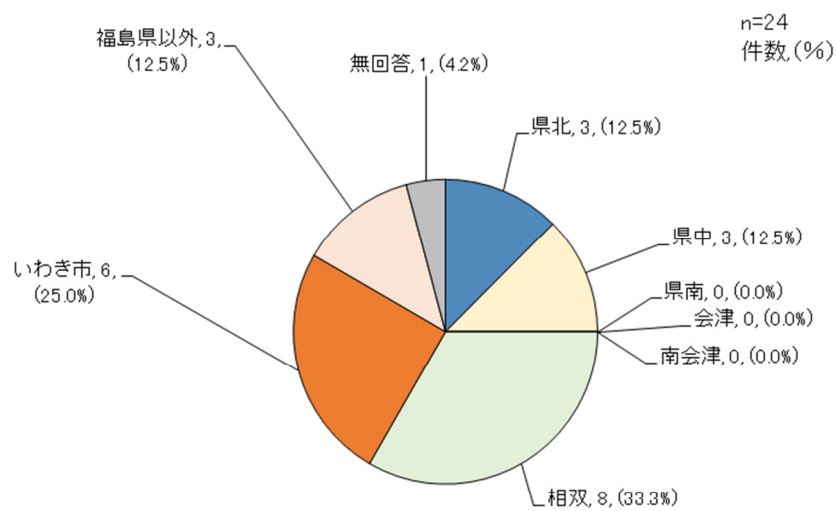
会津地域の学生の就職希望地域では、「会津」が72.6%と最も割合が高かった。

南会津



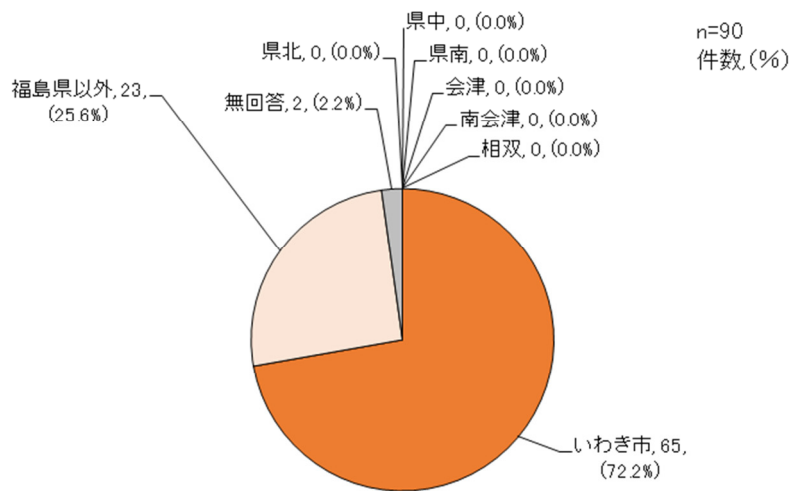
南会津地域の学生の就職希望地域では、「南会津」と「福島県以外」がともに 40.0%と最も割合が高く、次いで「県北」が 20.0%であった。

相双



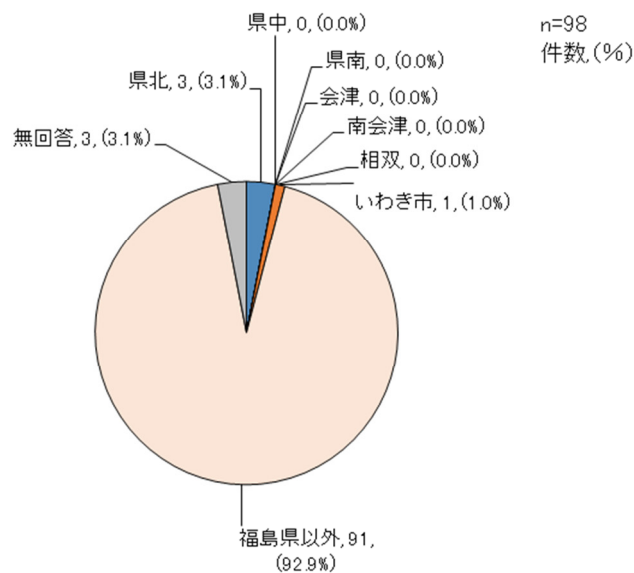
相双地域の学生の就職希望地域では、「相双」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「いわき市」が 25.0%であった。

いわき市



いわき市の学生の就職希望地域では、「いわき市」が72.2%と最も割合が高く、次いで「福島県以外」が25.6%であった。

福島県以外

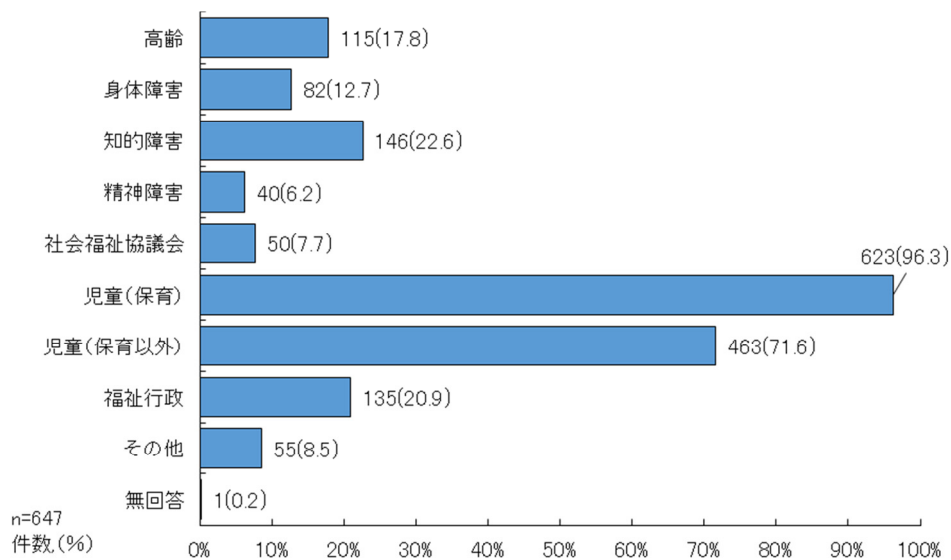


福島県以外の出身の学生の就職希望地域では、「福島県以外」が92.9%と最も割合が高かった。

問 9 将来仕事をしたい分野は？(第3希望まで)

* 希望順が不明な回答が多かったため、希望順の集計は行っていない。

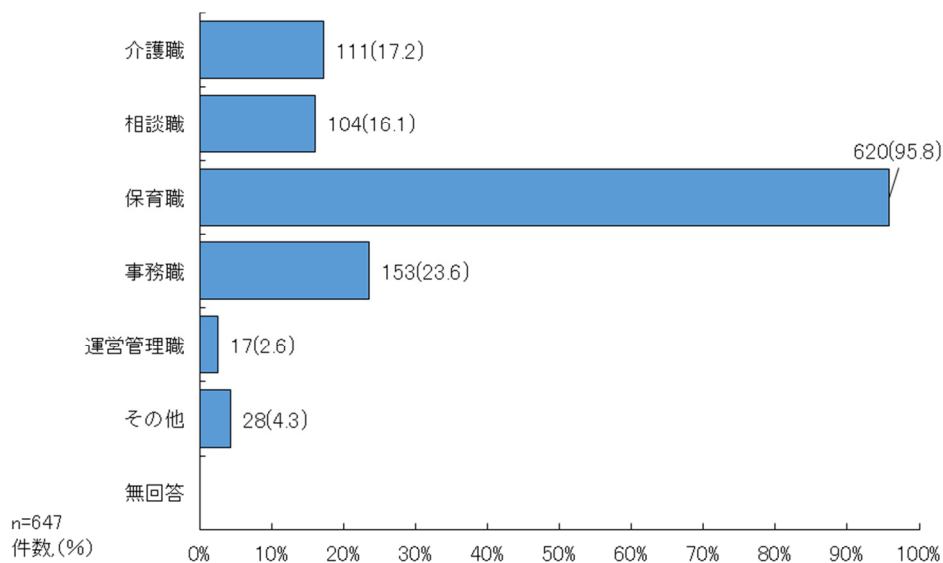
図表 9



回答者が将来仕事をしたい分野としては、「児童(保育)」が 96.3%と最も高く、ついで「児童(保育以外)」が 71.6%であった。

問 10 将来仕事をしたい職種は？(○は2つまで)

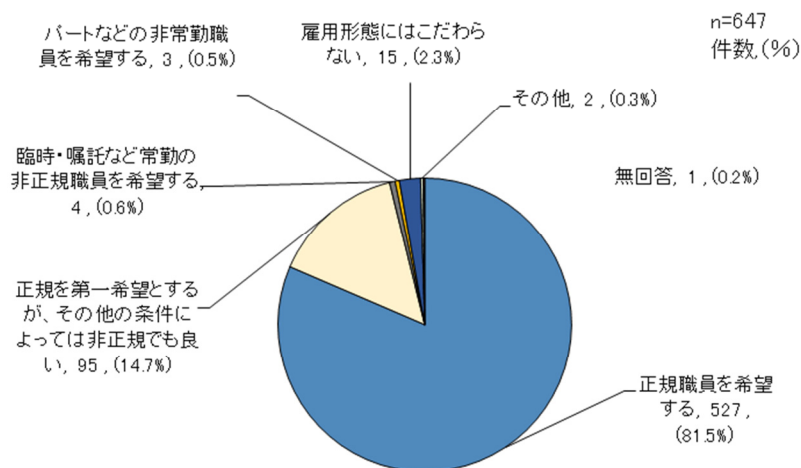
図表 10



将来仕事をしたい職種については、「保育職」が 95.8%と最も高かった。次いで「事務職」が 23.6%であり、「介護職」「相談職」は低かった。

問 11 希望する雇用形態は？（○は1つ）

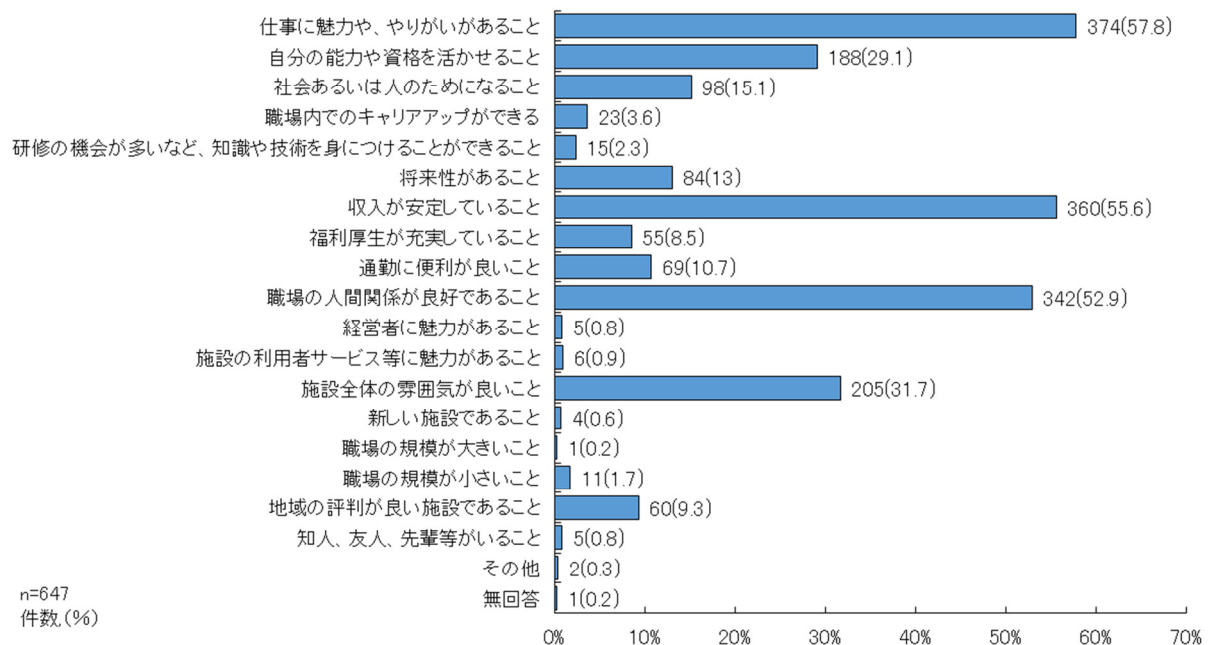
図表 11



希望する雇用形態は「正規職員を希望する」と回答した割合が 81.5%と最も高く、次いで「正規を第一希望とするが、その他の条件によっては非正規でも良い」が 14.7%であった。

問 12 職場を選ぶとき重視することは？（○は3つまで）

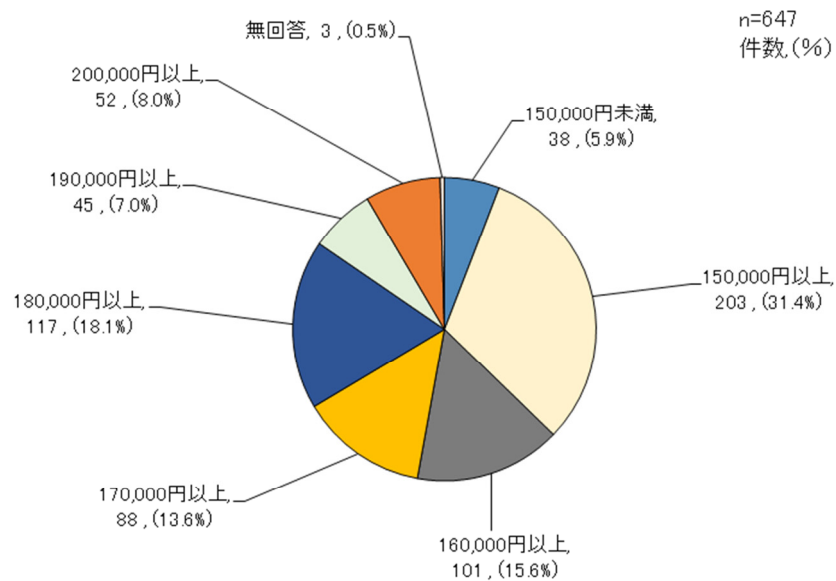
図表 12-1



職場を選ぶとき重視することとしては、「仕事に魅力や、やりがいがあること」が 57.8%と最も高く、次いで「収入が安定していること」が 55.6%、「職場の人間関係が良好であること」が 52.9%と高かった。

問 13 最低必要な初任給の金額は？（○は1つ）

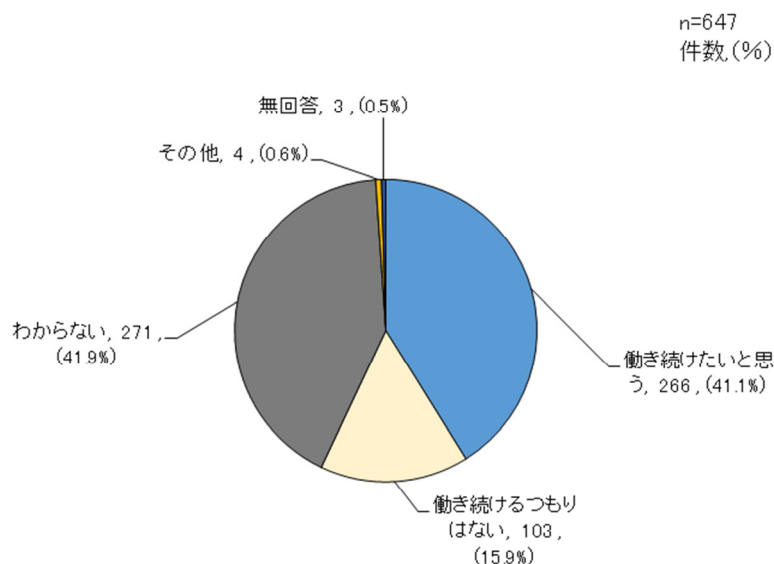
図表 13



最低必要な初任給の金額は、「150,000円以上」と回答した割合が31.4%と最も高く、次いで「180,000円以上」が18.1%、「160,000円以上」が15.6%、「170,000円以上」が13.6%であった。

問 14 最初に働いた職場で定年まで働き続けたいか？（○は1つ）

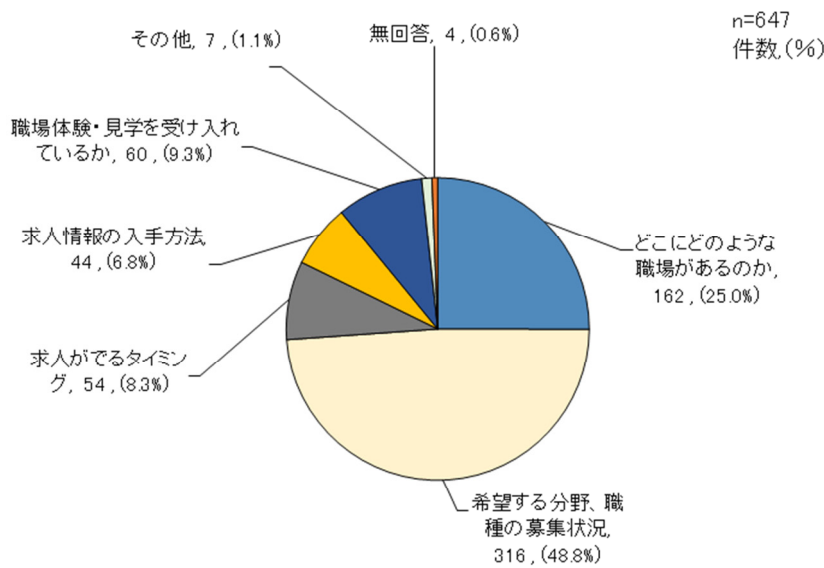
図表 14



最初に働いた職場で定年まで「働き続けたいと思う」と回答したのは41.1%で、「わからない」(41.9%)と同程度の割合だった。「働き続けるつもりはない」は15.9%であった。

問 15 福祉の職場への就職活動に必要な情報は？(○は1つ)

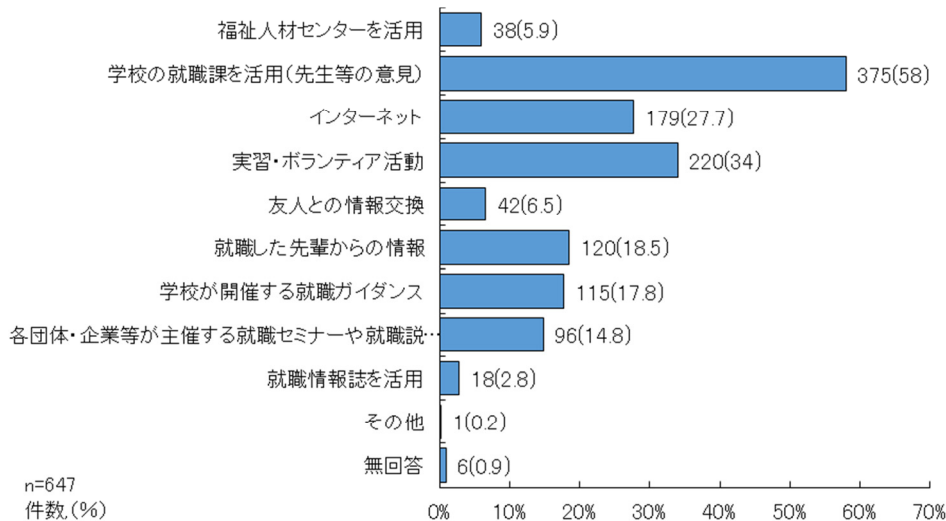
図表 15



福祉の職場への就職活動に必要な情報は、「希望する分野、職種の募集状況」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「どこにどのような職場があるのか」が 25.0%であった。

問 16 就職活動に最も活用していきたいものは？(○は2つまで)

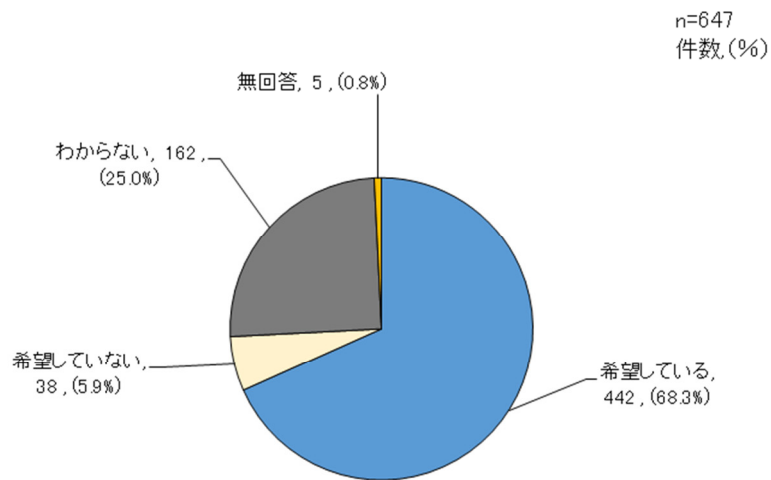
図表 16



就職活動に最も活用していきたいものは、「学校の就職課を活用(先生等の意見)」が 58.0%と最も高く、次いで「実習・ボランティア活動」が 34.0%、「インターネット」が 27.7%であった。

問 17 卒業後福祉の職場に就職を希望するか？(○は1つ)

図表 17-1 単純集計



卒業後、福祉の職場に就職を「希望している」割合は 68.3%であった。「希望していない」は 5.9%、「わからない」が 25.0%であった。

問 18 施設(保育所)実習における課題や悩み、不安等(自由回答)

- ・ 相手を否定せずに自分の想いを伝えることの難しさや大変さを知り、それが私の課題です。
- ・ 上手く、職員の方々や子どもたちと関係を築けるか。
- ・ 子どもたちと関わるときにどう対応していいのかわからなくなる時がある。例えば、「こっち来て」と言われた時。また、それを別な所から複数人に言われた時。
- ・ 子どもたちとの関わり方がわからない。
- ・ 子どもたちの状況がわからない状態で行くのが不安。
- ・ コミュニケーションについて。(他 6 件)
- ・ 怒られたらどうしよう。
- ・ 環境。
- ・ 保育所の雰囲気、保育目標が自分にあっているかどうか。
- ・ 子どもの発達理解。
- ・ 実習先の人間関係。(他 7 件)
- ・ 実習の時、実習先の職員の方々から迷惑がられていないか心配です。
- ・ 自分が就職を希望している地域での実習を行いたい。実習生の前ではほかの先生の悪口(悪口ではないけれど批判みたいな)を言われると、自分も怖くなってしまう。
- ・ 自分で考えて行動できるかが不安。
- ・ 障がい者の方とどのように関わればいいのかわからない。(他 2 件)
- ・ 障がい者の行動の意味を理解。
- ・ 障がいのある子とない子の援助の仕方の違いをどこまでしていいのかわからない。
- ・ 利用者とはどのように関わればいいのか、行く前は不安だった。短い期間で、利用者を理解しようとするのが大事だと思った。
- ・ もっと知的障がいについての資格など取得してみたいと思った。
- ・ 実習先・指導者によって内容に大きく差があること。(他 2 件)
- ・ 睡眠時間が確保できるか不安
- ・ 先生方との関係。
- ・ 泊まり込みの際に、朝起きれるかが不安です。
- ・ 二週間で三つのクラスを回るため、一つのクラスにいる期間がとても短く、自分の納得いくまでクラス内のことを理解するのが難しい。
- ・ 二週間やっっていけるか不安。
- ・ 福祉の実習で 23 日間勤められるか不安です。
- ・ 日誌。(他 1 件)
- ・ 日誌や指導案が書くことができるか不安。
- ・ 日誌をちゃんと書くことができるか、子どもとちゃんと関わることができるかなどが不安です。
- ・ 責任実習のことや指導案の作成においてスムーズに行えるか。
- ・ ピアノができない。(他 1 件)
- ・ 普段生活の中で子どもと関わる機会が少なかったことに気づいた。
- ・ 緊張。全日、半日・・・実習。
- ・ 全日保育。
- ・ 部分実習や全日実習が不安です。
- ・ 保育所実習で責任実習の日数が多くないか不安。
- ・ 本実習の責任実習が不安です。

- まだ園全体の理解や各クラスの流れを理解しきれていないので全日実習が不安。
- 壁面等を作る予定があるなら、早めに言ってほしい。オリエンテーション実習初日ではなく、実習前に言って欲しい。
- 本当に自分に向いているのか分からず、就職できるかわからない。
- やるべきことがしっかり行えるのか、実習先の方の迷惑にならないようできるか不安である。
- 実際に将来、仕事としてやっていけるか不安。
- 国家公務員の資格取れるか不安。
- 学費のほかに、実習するにあたって費用がかかること。
- 収入について。(他 4 件)
- 何もかもが不安。(他 2 件)
- 分からないのが悩み。

「その他」の回答内容一覧

問4 福祉の仕事を目指そうと思った時期 「その他」

- ・ 就学前(他 1 件)
- ・ 幼稚園・保育園(他 25 件)
- ・ 高校卒業後
- ・ 大学在籍中
- ・ 知人が福祉に勤めていると知ってから
- ・ 福祉(保育)の仕事に携わってから、一生の仕事にしようと思った。
- ・ 迷っています

問5 福祉を学ぼうと思った理由 「その他」

- ・ 幼稚園・保育園の時の先生に憧れて(他 9 件)
- ・ 自分の通っていた幼稚園が大好きだったから
- ・ 母からの影響
- ・ 9 歳離れた弟の影響で
- ・ 子ども(幼児)と関わる仕事をしたかったから(他 2 件)
- ・ 子どもが好きで、ボランティアに参加して学びたくなったから
- ・ 子どもと関わるのが好きで、成長発達に関わりたいと思った、憧れ
- ・ 一生の仕事にしたいと考えたから
- ・ これからの社会に必要なだと思ったから。
- ・ 世間的評価がある分野
- ・ 音楽が得意だったから
- ・ 音楽や工作ができる仕事をしたかったから
- ・ 子ども(幼児)に関わる仕事をしたかったから。
- ・ 実習を行って興味を持ったから
- ・ 授業の一環で幼稚園での実習を行い、興味を抱いたから

問6 入学するにあたって課題となったこと 「その他」

- ・ 学習内容など(他 1 件)
- ・ 家庭との両立
- ・ ピアノ(他 1 件)
- ・ 一人暮らし
- ・ 子どもをよく知る警察官になりたい。みんなとは夢が違うこと。(少年補導員)
- ・ もう一つの将来の夢

問9 将来仕事をしたい分野 「その他」

- ・ 医療
- ・ 医療事務、美容系
- ・ 医療保育
- ・ カウンセラー
- ・ アパレル、フリー

- ・ 音楽関係
- ・ 警察官
- ・ 子どもと関わる仕事
- ・ 幼稚園
- ・ 児童自立支援施設(他 1 件)
- ・ 障がい児
- ・ 小学校教員
- ・ 接客
- ・ 販売職(他 1 件)
- ・ コンサルタント
- ・ サービス
- ・ テーマパークスタッフ
- ・ 一般企業(他 6 件)
- ・ 事務職(他 3 件)
- ・ 公務員(他 2 件)
- ・ 留学
- ・ 未定

問 10 将来仕事をしたい職種「その他」

- ・ 教育職(他 2 件)
- ・ 警察官
- ・ 語学
- ・ 音楽関係(他 1 件)
- ・ サービス業(他 2 件)
- ・ 接客
- ・ テーマパークスタッフ
- ・ 農業職
- ・ アパレル、フリー
- ・ 福祉以外(他 1 件)
- ・ 未定

問 11 希望する雇用形態「その他」

- ・ 経営者
- ・ 公務員

問 12 職場を選ぶとき重視すること「その他」

- ・ 休日(他 1 件)

問 14 最初に働いた職場で定年まで働き続けたいか「その他」

- ・ その時による
- ・ 働き続けられるなら働きたい
- ・ 経験を積み、病院内の保育所を希望している。
- ・ 夫婦で話し合いが必要だと思います。

問 15 福祉の職場への就職活動に必要な情報「その他」

- ・ 職場の人間関係(他 2 件)
- ・ 現場や先輩の声
- ・ 何を勉強すればいいのか
- ・ 給料
- ・ 収入、園の様子が一目で分かる情報

問 16 就職活動で最も活用していきたいこと「その他」

- ・ 自分の直感

欄外記入

- ・ 問 9. 高齢者でなく、児童を対象とした仕事を希望します。

問7. あなたが福祉の仕事にどのようなイメージを持ちますか。該当する番号に○を付けてください。

(1) 仕事の魅力ややりがいについて

1. ある 2. どちらともいえない 3. ない

(2) 安定性・将来性について

1. ある 2. どちらともいえない 3. ない

(3) 社会的地位について

1. 高い 2. どちらともいえない 3. 低い

(4) 仕事内容について

1. きつい 2. どちらともいえない 3. やさしい

(5) 賃金について

1. 高い 2. どちらともいえない 3. 安い

(6) 休日について

1. 多い 2. どちらともいえない 3. 少ない

(7) 職場のイメージについて

1. 明るい 2. どちらともいえない 3. 暗い

問8. あなたの出身地域と就職希望地域について、それぞれ該当する番号に1つずつ○を付けてください。

地域名	出身地域	就職希望地域
1. 県北 (福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、飯野町、大玉村)		
2. 県中 (郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町)		
3. 県南 (白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村)		
4. 会津 (会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町)		
5. 南会津 (下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)		
6. 相双 (相馬市、南相馬市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村)		
7. いわき市		
8. 福島県以外		

問12. あなたは職場を選ぶとき、どのようなことを重視しますか。該当する番号に 3つまで○を付けてください。

1. 仕事に魅力や、やりがいがあること
2. 自分の能力や資格を活かせること
3. 社会あるいは人のためになること
4. 職場内でのキャリアアップができる
5. 研修の機会が多いなど、知識や技術を身につけることができること
6. 将来性があること
7. 収入が安定していること
8. 福利厚生が充実していること
9. 通勤に便利が良いこと
10. 職場の人間関係が良好であること
11. 経営者に魅力があること
12. 施設の利用者サービス等に魅力があること
13. 施設全体の雰囲気が良いこと
14. 新しい施設であること
15. 職場の規模が大きいこと
16. 職場の規模が小さいこと
17. 地域の評判が良い施設であること
18. 知人、友人、先輩等がいること
19. その他 ()

問13. あなたが最低必要な初任給の金額は。該当する番号に 1つだけ○を付けてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 150,000 円未満 | 2. 150,000 円以上 |
| 3. 160,000円以上 | 4. 170,000 円以上 |
| 5. 180,000円以上 | 6. 190,000 円以上 |
| 7. 200,000 円以上 | |

問14. あなたは最初に働いた職場で定年まで働きたいと思いますか。該当する番号に 1つだけ○を付けてください。

1. 働きたいと思う
2. 働けるつもりはない
3. わからない
4. その他 ()

問15. 福祉の職場への就職活動で、どんな情報が必要ですか。該当する番号に1つだけ○を付けてください。

1. どこにどのような職場があるのか
2. 希望する分野、職種の募集状況
3. 求人ができるタイミング
4. 求人情報の入手方法
5. 職場体験・見学を受け入れているか
6. その他 ()

問16. 就職活動に際し、最も活用していきたいものは何ですか。該当する番号に2つまで○を付けてください。

1. 福祉人材センターを活用
2. 学校の就職課を活用（先生等の意見）
3. インターネット
4. 実習・ボランティア活動
5. 友人との情報交換
6. 就職した先輩からの情報
7. 学校が開催する就職ガイダンス
8. 各団体・企業等が主催する就職セミナーや就職説明会・合同面接会
9. 就職情報誌を活用
10. その他 ()

問 17. 卒業後福祉の職場に就職を希望しますか。該当する番号に1つだけ○を付けてください。

1. 希望している
2. 希望していない
3. わからない

問 18. 施設（保育所）実習において課題や悩み不安等があればご記入ください。
※未実施の方は記入不要

ご協力ありがとうございました

平成27年度

福祉の仕事、職場を目指す学生の意識調査

報告書（保育系学科）

発行：平成28年3月

発行者：社会福祉法人福島県社会福祉協議会

人材研修課 保育士・保育所支援センター

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

（福島県総合社会福祉センター内）

電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663

<http://www.fukushimakenshakyō.or.jp>

E-mail: jinzai@fukushimakenshakyō.or.jp

集計・印刷：タカラ印刷株式会社

〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9

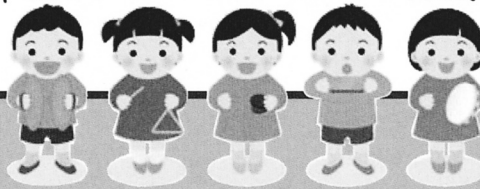
電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302

賠償・傷害のセットプランをおすすめします！！

平成28年度

全社協 保育所の損害補償

スケールメリットを活かした有利な補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

● 簡単、便利なインターネットで手続きを

ふくしの保険

検索

<http://www.fukushihoken.co.jp>

基本セット補償	補償金額	年間保険料	
		定員数	保険料
賠償責任	対人賠償	1名→1億円 1事故→7億円	41～50名 22,700円
	対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1～10名増ごとに 1,200円
	受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	91～100名 29,300円
	人格権侵害	期間中→1,000万円	101名以降 1～10名増ごとに 1,200円
	事故対応特別費用	期間中→500万円	151名以降 1～10名増ごとに 1,420円
	被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	
園児傷害	死亡保険金	121.2万円	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます) 870円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	入院保険金	1,700円*	
	通院保険金	1,100円	

基本セット補償保険料計算例	
100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害	870円 × 100名 × 1口
合計	116,300円

* 手術保険金のお支払い額は、入院中の手術の場合：入院保険金日額の10倍、外来の手術の場合：入院保険金日額の5倍となります。

天災セット補償	補償金額	年間保険料	
		定員数	保険料
賠償責任	対人賠償	1名→2億円 1事故→10億円	41～50名 28,000円
	対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1～10名増ごとに 1,500円
	受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	81～90名 33,900円
	人格権侵害	期間中→1,000万円	91～100名 36,200円
	事故対応特別費用	期間中→500万円	101名以降 1～10名増ごとに 1,500円
	被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	151名以降 1～10名増ごとに 1,800円
園児傷害	死亡保険金	108万円	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます) 1,190円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	入院保険金	1,500円*	
	通院保険金	1,000円	



個別プラン

- プラン1**
保育所業務の補償
- ① 基本補償
 - ② 個人情報漏えい対応補償
 - ③ 保育所の什器・備品損害補償
- プラン2**
保育所利用者の補償
- ① 園児の傷害事故補償
 - ② 来園者の傷害事故補償
 - ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

- プラン3**
保育所職員の補償
- ① 保育所職員の労災上乗せ補償
 - ② 保育所職員の傷害事故補償
 - ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償
- プラン4**
社会福祉法人役員の補償
- ④ 社会福祉法人役員の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
 保険会社 TEL: 03(3593)6824
 受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763